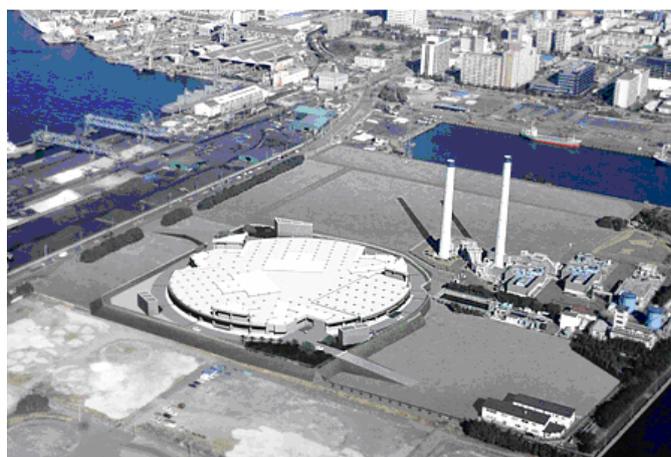


東京電力株式会社 新豊洲変電所

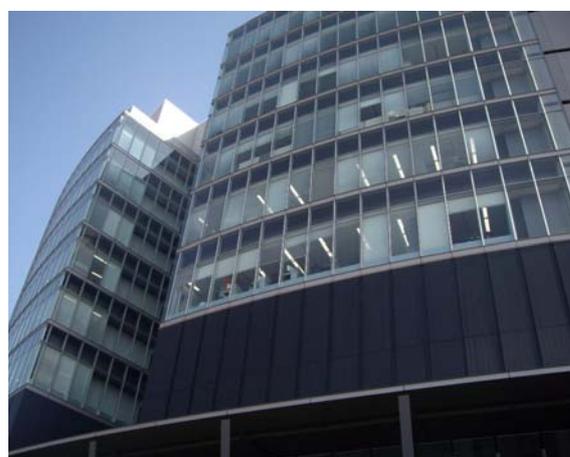
施設管理者 : 東京電力株式会社
施設所在地 : 東京都江東区
調査見学時期 : 平成21年2月12日

施設概要

これまで、都心部の電力は、東京圏の外郭をとりまく9箇所の50万ボルト変電所を拠点として、都心部に向かう27万5千ボルト送電系統によって供給されてきました。新豊洲変電所は、21世紀の首都圏の電力需要を賄い、長期的な安定供給を目的として、直接都心部で50万ボルトを受け入れるため超過密状態の市街地を避け、臨海副都心に世界初の地下式変電所として建設されました(平成12年11月完成)。その規模は、東京ドームがすっぽりと納まる径140m、深さ29mの大きさで、既設の27万5千ボルト変電所の約3倍にもなります。都市環境との調和をも意識した形状は、東京オリンピックが誘致されれば、その電力供給はいうまでもなく、シンボリックな存在としての役割を果たすに違いありません。



変電所完成当時の航空写真



変電所上部建物